

### つきたい力

- ・様々な情報から自分の考えを持ち、伝え合う力

### 取組みの概要・ポイント

- ・図書資料を有効活用し、情報活用能力を高める
- ・チームでの授業づくり
- ・自分が理解している言葉や、話しやすい言葉で伝える

実践報告動画



バスファインダーなど



### 具体的な取組みの内容

## 学校図書館を活用した授業づくり

#### 情報提供の工夫



レファレンスシートの活用  
※教員や児童の要望を把握

- ・学習のめあてや興味・関心、発達段階に応じた本を用意
- ・市立図書館と連携し、同じ本を複数冊用意
- ・個別最適な学びのサポートとなるよう、写真が多い本や説明が詳しい本など多種多様な本を用意
- ・新聞、インターネットのサイト等、個に応じた資料を用意



#### 自分の考えを持つための工夫



- ・好奇心を引き出す導入
- ・多角的に考えるための情報収集
- ・他者（ペア・班）との対話
- ・自分の経験との比較

3年理科「太陽とかけ、太陽と光」

イメージマップを用いて児童が疑問や興味をもった事柄を書き出し、調査内容を各自が決定した。複数の図書資料の読み比べや他者との対話を通して、自分の考えを多角的にまとめることができた。



#### 伝え合うための工夫



- ・相手意識の明確化
- ・質問し合う
- ・NO原稿！

5年理科「植物の発芽と成長」

教科書での学習後に興味のある植物について調べ、スライドにまとめた。「原稿を持たずに、自分の言葉で説明する」という発表方法にすることで、何度も本を読み、難しい言葉は言い換え、伝えたい事柄を絞ることができていた。



#### 学校図書館を活用した授業の改革 ～学習・情報センターとして～



全学年が週に1時間、「図書館mission」と題して様々な教科と関連付けた活動を図書館で行った。「目立つ文字を探して、工夫を伝え合おう」本の表紙にある文字の工夫を交流することで、目立たせる色の組み合わせが分かり、本の帯づくりやスライド作成に役立てることができた。「大きな数が出てくる本を探そう」どのような場面で大きな数が使われているか、本から見つけることで理解が深まった。



## 本に親しむ場づくり

#### ①読書ビンゴの実施

- ・様々な「類」に挑戦ビンゴ（全校）
- ・昔話ビンゴ（1年生）
- ・民話ビンゴ（3年生）

ビンゴ形式にすることで、楽しみながら取り組んでいた。

#### ②図書委員会によるイベント

- ・ハロウィンのしおりプレゼント
- ・季節のスタンプラリー
- ・ブックイズ
- ・題名しりとり



ブックイズに挑戦



#### ③給食メニューとコラボ 「給食番長」の読み聞かせ

### 取組みを通しての子どもの変容

- ・わからないことや知りたいことがあったとき、すぐに図書館資料で調べる児童が増え、主体的に学ぶ姿が見られるようになった。
- ・本を使うことで学習内容が理解しやすくなったと感じる児童が増加した。

児童アンケート	5月	12月
わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネットなどで調べている。	78.4%	84.6%
図書館資料やインターネットで調べたことをもとに、自分の考えをまとめて書いたり、話したりしている。	57.5%	68.5%
本やインターネットなどで調べているとき、必要な情報の探し方がわかる。	73.5%	85.3%